（様式2）

令和7年度　施設指定管理者
モニタリングレポート（年次評価報告書）

施　設　名	**西部児童館**
指定管理者名	株式会社日本保育サービス
指　定　期　間	令和7年　4月　1日　～　令和12年　3月　31日　（1期1年目）
所　管　課	子育て支援課

1　業務履行の確認・評価

	年次評価
適正な施設の運営・維持管理が行われているか。	B

【施設の運営に関する基本的事項】
指定管理者の変更と館長交代による体制変化の中、引継ぎを進め、応援体制も活用しながら運営に努めている。情報共有ルールや安全管理体制を整備し、日常業務を適切に実施してはいるものの、利用者数の減については課題が残る。

【自主事業に関する事項】
ボルダリング、こども会議、親子教室、太鼓クラブ、幼児リトミック等の事業を計画的に実施している。5館の職員応援や講師確保などの連携体制も活用し、事業を適切に実施している。

【施設の維持管理業務に関する事項】
館内の安全点検や衛生管理を適切に行い、設備や備品を適切に管理し、施設環境を良好に維持している。

2　サービスの質に関する評価

	年次評価
提供するサービスの水準が確保されているか。 また、サービスの向上が図られていたか。	A

【利用者アンケート（満足度調査）に関する事項】
＜調査の概要＞
・令和8年1～2月に利用者アンケートを実施。
＜調査結果の概要＞
アンケート結果によると、職員の親切さや児童館の楽しさについては概ね高い評価を得ていた。困っている際の声かけや気軽な会話、利用のしやすさ、子どもの楽しそうな様子についても肯定的な意見が多数を占めた。親同士の交流機会や環境の好ましさ、清掃状況についても肯定的な回答が得られた。

【自主事業に関する事項】
利用者アンケートの要望を踏まえた幼児リトミックや、5館合同の児童館まつりなど、多様な事業を展開している。また、STEAMSレクといった創意工夫のある企画も特徴的である。そのほか、他館から講師を確保するなど、利用者ニーズに応じた内容の充実が図られている。

【サービス水準や利用環境に関する事項】
子どもへの性暴力防止に向けた誓約書や対応フロー、統一マニュアルを整備し、安全・安心な利用環境の確保に努めている。情報共有を徹底し、対応方針を共有し職員間の認識を統一するとともに、利用者が安心して過ごせる環境の充実が図られている。

3　サービス提供の継続性・安定性に関する評価

健全な収支状況のもと、継続的・安定的にサービスが提供されているか。 また、団体の経営状況は健全か。	年次評価 A

【施設の収支状況に関する事項】

・指定管理料（令和7年度決算額14,750,000円）の中で、事業収支は黒字になっており、継続的にサービスを提供できている。

【団体の経営状況に関する事項】　　中央・北部・南部・西部・ひまわり児童館　共通事項

（株）日本保育サービスの経営状況の分析

・第22期（2025年4月1日～2026年3月31日）の損益計算書では、売上高は前期より増加している。

・営業利益、当期純利益金額ともに前期より増加している。

・貸借対照表の純資産合計からも財務内容は健全であり、この3年間において、売上高、当期純利益とも毎年向上しており、順調な経営状態であるといえる。

総合評価	B	【審査委員会コメント】 指定管理者及び館長の交代という体制変化の中でも、組織としての職員相互応援体制を活用しながら事業を運営した。その中で、ボルダリングの安全管理を徹底するとともに、こども会議や太鼓クラブ、幼児リトミック、STEAMSレクなど、多様な事業を展開している。一方、利用者数が前年度比40%減となっており、指定管理者の交代に伴う引継ぎや新たな体制づくり、個別の対応を要する子どもや保護者への対応等、複数の要因が重なったことが利用者数の減少につながったと考えられる。評価基準に基づく総合評価はBとなったものの、自主事業において創意工夫ある企画を実施するなど利用者の確保に向けた取組にも努めている。子どもへの性暴力防止に向けた体制整備や職員への周知を徹底するとともに、アンケートを踏まえた事業や5館合同事業など、施設間連携を活かした取組も進めている。今後は個別の課題へのより早期の対応と児童や保護者との信頼関係の構築を進めながら、こうした取組を継続し、利用者の回復とサービスの充実につなげることが期待される。

【年次評価】　　（評価基準）

- S（優　良）：区分評価が全てA以上、かつSが過半数以上。
- A（良　好）：区分評価が全てA以上。
- B（課題あり）：区分評価にBがあった。
- C（要改善）：区分評価にCがあった。

【総合評価】　　（評価基準）

- S（優　良）：市の要求水準を上回るサービスが提供されている。
- A（良　好）：市の要求水準に沿ったサービスが提供されている。
- B（課題あり）：サービスの内容の一部に課題がある。
- C（要改善）：サービスの内容に改善が必要である。